

ボランティアの力で回国塔を修復

江戸時代に作られた回国塔

9月2日、町歴史民俗資料館下にある回国塔が、地元ボランティアなどの手により、震災以来3年ぶりに修復され、その完成を祝いました。

回国塔は、鳥取県西部地震により倒れたため、地元の人々から「修復してほしい」と要望が出ていました。

修復は、地元ボランティアの人々を中心となり、作業に取りかかっていました。

修復を祝う会には、ボランティアや地元の人々が参加。「きれいに直り、うれしいです」と話していました。



「慎重に」修復作業も大がかり



修復を祝い多くの人が訪れる

町歴史研修会の川上護さん（根雨）は「震災以来の念願がかない、よるこんでいます。多くの方々の協力に感謝しています。貴重な文化財なので、皆さんにも、ぜひ知ってほしいです」と話していました。

この回国塔は、今から27年前の江戸時代に作られたもので、諸国66か国の巡礼終了の無事を記念して建てられたものだと言われています。

町内は4か所あり、中でもこの塔が一番古く大きいこともあり、町の文化遺産としても珍しく貴重なものとされています。



井出川のゴミや石積みに精を出す

きれいな町に

全町一斉クリーン作戦

ゴミのないきれいな町を目指すそうと、9月21日、全町一斉クリーン作戦が、町内全域で行われ、各自治会では、朝から地区内の河川、道路清掃やゴミ拾いに汗を流しました。

根雨3区（小谷澄男自治会長）では約50人が参加。地区内の清掃と町歴史民俗資料館横の井出川整備の2班に分かれ作業をしました。

井出川清掃は、くずれた石を積み直したり、側溝内のゴミを取り除き水の通りをよくするなどの重労働。みんな力を合わせながら手際よく整備しました。

2時間後には、地区内の清掃作業も終わり、参加者は「きれいになり気持ちがいい」と話していました。

楽しい競技に熱い声援

町民体育祭根雨地区大会に400人が参加

体力増進と親睦を深めようと、9月28日、町民体育祭根雨地区大会を根雨小学校グラ

ウンドで開きました。

秋空の下、400人の参加者が集まり、体力づくりにはさわやかな汗を流しました。

体育祭は、各自治会が8組に分かれて対抗。ボールけりや水入れ競争、綱引きやおしどりリレーなど15種目を楽しみました。

最後に総合リレーが行われ、会場に熱い声援が響きわたりました。

総合優勝は、7組（野田・舟場・三谷・貝原）で、準優勝は、6組（下榎・安原・津地）でした。



「スタートダッシュ」白熱するリレー



「当たるかな」ボールでピンを倒すボーリング競技